

東京都区部における経年変化を考えた緑地の再生手法に関する研究

正会員○柳澤 聡子^{*1}

その2 歴史的保存緑地を核とした緑地の再生手法

同 會田 祐^{*2}

同 土田 久雄^{*2}

同 高橋 信之^{*3}

同 尾島 俊雄^{*4}

東京都区部 緑地経年変化 緑地再生

1. はじめに

その1では、①東京都区部における緑地の経年変化を調査し、②都区部の中心距離別の緑被率を求め、副都心的拠点がスプロール化に影響を与えていることを示した。さらに、③中心距離別の緑被増減率を緑地の分類別に分析し、歴史的に保存されている緑地について把握した。

そこで本報では、東京都区部において歴史的に保存されてきた緑地の分布を把握し、これを核とした緑地の再生手法を検討する。

2. 歴史的保存緑地の分布

前報で述べたように、市街化の中で樹木・樹林は歴史的に保存されてきた。主に、神社や寺の鎮守の森、旧邸宅の庭園などからなるこのような緑地を「歴史的保存緑地」と定義し、図1にその分布を示す。都区部の中心および周辺に散在するこれらの緑地は、かつて樹木が持っていた宗教性などを考慮すれば、今後も地域の人々の間で保存されうると考えられる。以下において、これを核とした緑地の再生手法を検討する。

3. 歴史的保存緑地を核とした緑地の再生手法

3-1 市街化推進拠点の設定

歴史的保存緑地を核にして緑地を再生させるにあたり、①1880年代にすでに人口集積地区であり、②再開発事業などが進行中の地域で、③交通インフラの結節点である箇所を「市街化推進拠点」として設定する。これらは合計22ヶ所にのぼり、その分布は図2の通りである。これらを重点的に都市化し、それ以外の地域を緑地として再生することが望ましいと考えられる。

3-2 緑化推進区域の設定

次に、市街化推進拠点を中心とした拠点区域内における市街化推進区域以外の区域で、歴史的保存緑地の分布する区域を緑化推進区域として設定する。図3に



図1 歴史的保存緑地の分布



図2 市街化推進拠点の設定

A Study on the Revival Plan of the Vegetation Based on its Secular Change in the Tokyo 23-wards

Part 2 The Revival Plan of the Vegetation developing around the Historical Conservation Area

Satoko YANAGISAWA et al.

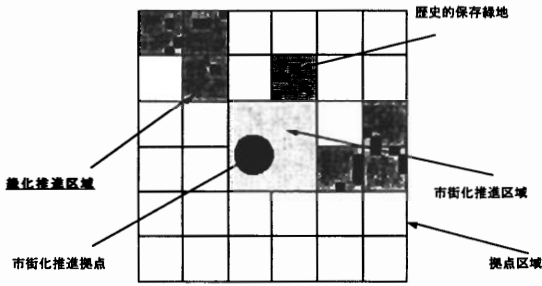


図3 緑化推進区域の設定

緑化推進区域の設定内容を示す。

また、現在の都市公園法施行令においては、都市公園設置基準を一人あたり5㎡としているが、東京都区部においては一人あたり3.0㎡と基準値に達していない。そこで本研究では、この都市公園の設置基準を目標値として設定し、不足分を緑化推進区域において確保することとし、検討を行った。

3-3 歴史的保存緑地を核にした緑地の再生手法の検討

図4に再生後の緑被率を示す。従来の緑地計画のほとんどは、緑地の不足している地域に重点的に緑化を行うというものであったが、このように歴史的に保存されてきた緑地を核として周辺緑化を行ったことにより、拠点ごとにばらつきが出た。これは、歴史的に保存されてきた緑地の多い拠点ほど、再生する緑地を多くし、クラスター化を実現させようとした結果である。

図5に再生後の緑地分布を示す。このように、歴史的に保存されてきた緑地を核として周辺緑化を行うことにより、市街地を分断する緑の道を創ることができた。このような緑の道を創出することによりヒートアイランドを分断し、広域災害時の安全性を確保できると考えられる。

4. おわりに

本研究では、まず緑地の経年変化を地図をもとに克明に調査した。その調査結果をもとに歴史的に保存されてきた緑地を抽出し、これを歴史的保存緑地と定義して、その分布を把握した。そして、この歴史的保存緑地を核として、その周辺に優先的に緑化を推進するという手法により、現状の緑地をネットワークできるということが認識できた。このような考え方は、地域

の特殊性・歴史性を考慮し、かつ都市環境の改善にも効果が期待できる緑地再生手法であると考えられる。

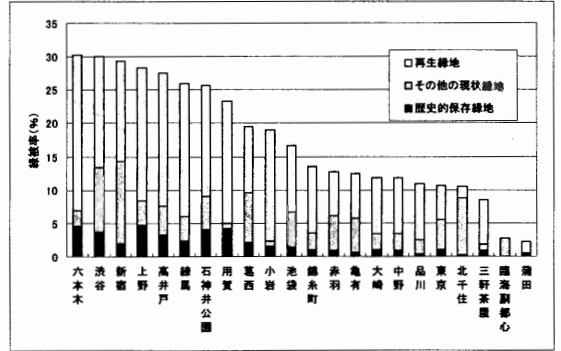


図4 再生後の緑被率

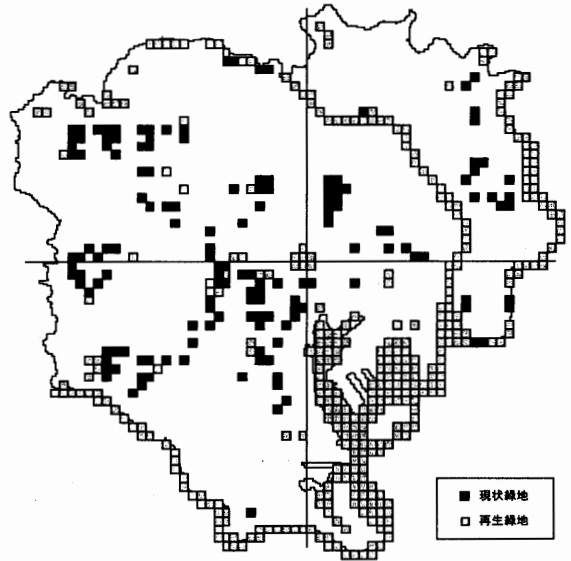


図5 再生後の緑地分布

参考文献

- 1) 明治前期関東平野地誌図集成 1880(明治13)年~1886(明治19)年: 柏書房 等
- 2) 鈴木謙一、上村晃平、杉山寛克、渡辺浩文、尾島俊雄: 東京都区部における超々高層建築導入による熱環境緩和に関する研究、日本建築学会関東支部研究報告集、1995
- 3) 上村晃平: 東京都区部におけるヒートアイランド分断のための土地利用計画に関する研究—東京クラスターモデルの提案—、早稲田大学大学院理工学研究科建設工学専攻尾島俊雄研究室修士論文、1995
- 4) 高原栄重: 都市緑地、鹿島出版会、1988

*1 早稲田大学大学院・工修

*2 早稲田大学大学院

*3 早稲田大学理工学総合研究センター助教授・工博

*4 早稲田大学教授・工博

*1,2 Graduate School, Waseda Univ.

*3 Assoc. Prof., Advanced Research Center for Science and Engineering of Waseda Univ.

*4 Prof. of Waseda Univ.